

ライブ
LIVE
レポート
REPORT



— SMBC 日興 — for Women

女性のための

投資フォーラム2018

セミナー会場



8591





経営計画部 副部長
原 知子 氏

～ほかにはないアンサーを。～

オリックスについて

- **会社概要**
 - ・常に新しいビジネスを追求し、先進的・国際的な商品・サービスを提供する金融サービス会社
 - ・東京証券取引所とニューヨーク証券取引所に上場
 - ・株主構成：外国法人55.2%、国内金融機関等33.3% 個人7.6%、その他3.9%(2018年3月末時点)
 - ・1964年4月設立、リース業を通じて得たモノを扱う専門性と与信審査およびファイナンス能力が強み
 - ・「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開
 - ・国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界38ヶ国で事業を展開
- **業績推移**
 - ・設立初年度を除き、53年間毎期黒字を計上
 - ・2018年3月期の当期利益：3,131億円で過去最高

中期的な方向性

- **中期的経営目標(2019年3月期～2021年3月期)**
 - ・当期純利益：年成長率4～8%、ROE11%以上、信用格付A格
- **今後の成長分野①：環境エネルギー事業**
 - ・太陽光はじめ地熱・風力など再生可能エネルギー事業
 - ・国内の太陽光発電事業はトップ規模(確保プロジェクト約1,000MW)
- **今後の成長分野②：コンセッション事業**
 - ・日本初の大型国際空港民営化を実現
 - ・大阪国際空港(伊丹空港)・関西国際空港は、2016年4月、神戸空港は、2018年4月運営開始
 - ・関西エアポート：国内第2位の空港プラットフォーム、今後40年以上の長期にわたり運営予定
 - ・空港・上下水道等の公共インフラに対し、民間の経営力とノウハウ発揮へ

当社の事業

- **当社3カテゴリーの概況と成長**
 - ・「ファイナンス」、「事業」、「投資」の3カテゴリーで、「事業」と「投資」分野の成長が顕著
 - ・「事業」カテゴリーの成長分野は、環境エネルギー、コンセッション、アセットマネジメント、生命保険など、新規投資やM&Aを通じてポートフォリオ拡大へ
 - ・「投資」カテゴリーの成長分野は、プライベート・エクイティ投資と航空機・船舶など、当社が関与することで資産や投資先の価値を最大限向上へ
- **当社事業のご紹介**
 - ・施設運営事業：ホテル・旅館、ゴルフ場、水族館、多目的ドーム、高齢者向け施設等の開発・運営を手掛け、国内で約110施設を運営
 - ・自動車事業：自動車リース車両管理台数業界1位、カーシェアリングとレンタカーでも業界2位、海外では18カ国で展開

人材戦略、株主還元

- **価値創造の源泉は「人材」**
 - ・多様な人材を受け入れ、力を発揮できるような職場環境整備や人事制度改革を実施
 - ・女性管理職比率：2020年までに18%(2015年3月末)から5%引き上げ目標
 - ・女性正社員ワーキングマザー比率は34%へ伸長
- **当社株式の魅力**
 - ・最低投資金額(2018年8月20日終値ベース)は、173,500円
 - ・配当利回り3.8%、PBR0.78倍、PER7.10倍
- **配当、株主優待**
 - ・2018年3月期配当性向27%(66円：前期比26%増)投資と安定還元のバランス考慮
 - ・「株主カード」ご提示で、オリックスグループの商品・サービスを割引価格ご提供。オリジナルのカタログギフトで当社お取引先の厳選商品をお届け

本資料は、フォーラム開催日の2018年9月1日現在の情報に基づいて作成されており、その後の業績動向等を反映したものではないため、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。